

いちご一会とちぎ国体矢板市実行委員会

設立趣意書

令和4年（2022年）、栃木県で昭和55年以来42年ぶりに開催される第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」において、矢板市では正式競技であるサッカー（少年女子）、軟式野球（成年男子）とデモンストレーションスポーツであるオリエンテーリングを実施します。

国民体育大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにすることを目的として開催される、国内最大のスポーツの祭典です。

スポーツは、個人としての心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の達成に寄与するほか、人と人との交流、あるいは地域と地域との交流を促進することで地域コミュニティの一体感や活力を醸成し、幸福で豊かな社会を実現するものであることから、スポーツに対する期待は年々高まっています。

このようにスポーツに注目が集まる中で国民体育大会を開催することは、単に選手が競技者として活躍する場を提供するというだけではなく、トップアスリートの競技を観戦した市民の方々のスポーツ全般に対する興味、関心を高める機会となり、さらには市を挙げて全国からの来訪者をもてなし、交流を深めることによって、この矢板市の恵まれた自然、文化等の地域資源をアピールする絶好の場となるものと期待されます。

このように非常に有意義な国民体育大会を成功に導くために、万全の準備と円滑な競技会の運営の遂行を目的として、矢板市の総力を結集し「いちご一会とちぎ国体矢板市実行委員会」を設立するものであります。

令和元年8月22日

いちご一会とちぎ国体矢板市実行委員会設立発起人

矢板市長 齋藤 淳一郎

矢板市教育委員会教育長 村上 雅之

矢板市議会議長 石井 侑男

矢板市体育協会会長 山口 忠男

矢板市商工会会長 東泉 清寿